

1:1 神は昔、預言者たちによって、多くの部分に分け、多くの方法で先祖たちに語られました。

1:2 この終わりの時には、御子にあって私たちに語られました。神は御子を万物の相続者と定め、御子によって世界を造られました。

1:3 御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現れであり、その力あるみことばによって万物を保っておられます。御子は罪のきよめを成し遂げ、いと高き所で、大いなる方の右の座に着かれました。

1:4 御子が受け継いだ御名は、御使いたちの名よりもすばらしく、それだけ御使よりもすぐれた方とされました。

1:5 神はいったい、どの御使いに向かって言われたのでしょうか。「あなたはわたしの子。わたしが今日、あなたを生んだ」と。またさらに、「わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる」と。

1:6 そのうえ、この長子をこの世界に送られたとき、神はこう言われました。「神のすべての御使いよ、彼にひれ伏せ。」

1:7 また、御使いについては、「神は御使いたちを風とし、仕える者たちを燃える炎とされる」と言われましたが、

1:8 御子については、こう言われました。「神よ。あなたの王座は世々限りなく、あなたの王国の杖は公正の杖。」

1:9 あなたは義を愛し、不法を憎む。それゆえ、神よ、あなたの神は、喜びの油で、あなたに油を注がれた。あなたに並ぶだれよりも多く。」

1:10 またこう言われました。「主よ。あなた

ははじめに地の基を据えられました。天も、あなたの御手のわざです。

1:11 これらのものは滅びます。しかし、あなたはいつまでもながえられます。すべてのものは、衣のようにすり切れます。

1:12 あなたがそれらを外套のように巻き上げると、それらは衣のように取り替えられてしまいます。しかし、あなたは変わることがなく、あなたの年は尽きることがありません。」

1:13 いっただいどの御使いに向かって、神はこう言われたでしょうか。「あなたは、わたしの右の座に着いて下さい。わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまで」と。

1:14 御使いはみな、奉仕する霊であって、救いを受け継ぐことになる人々に仕えるために遣わされているではありませんか。

ヘブル人への手紙はヘブル人に書かれたものです。彼らは長い間救い主メシヤを待ち望み、またその準備段階としての律法・旧約の出来事・そして祭儀に精通していました。ですから彼らがイエスをメシヤと信じるためには、異邦人とは違った論点が必要です。この書ではそれゆえに、イエス様のメシヤ性がさらに明らかになっています。

「むかし先祖たちに、預言者たちを通して」というのは旧約聖書です。「終わりの時」とありますが、御子が救いを成し遂げたということは再臨も含めて「終わり」に近いということです。

「御子によって、私たちに語られました。」とあります。イエス様のみわざにはメッセージがあるということです。癒しと悪霊追い出しは神の国(支配)が始まったという意味であり、律法を全うしたその生涯は「完全な人であり、完全な神」を表し、そして神の愛を表し、さらには十字架で「神の義と愛」を表されたのです。イエス様こそがまさに、「神のロゴス(ことば)」であったと

いうことです。

「きょう、わたしがあなたを生んだ。」とありますが、そのバプテスマ以前にもイエス様は存在していたのですから、「キリストは神によって創造された」というのは間違いです。父なる神様は、聖霊によって地上でも完全な親子であることを表したのです。

イエス様は万物が創造される前から御父とともにおられた神です。そして「万物の相続者」、「神の栄光の輝き」、「罪のきよめを成し遂げて、...大いなる方の右の座に着かれ」た方です。このイエス様に覚えられ、愛され、親しく交わり、必要と助けをいただけるのがクリスチャンです。恵を感じて感謝し、喜びで生きましょう。

神である救い主、御子イエスをおとしめる教えも存在します。御子を神とせず、人間や動物と同じく被造物とするものです。ある人は天使の一人と考えました。それは十字架を無効にするだけでなく、神の愛を歪んだものにします。すなわち、神は「罪の身代わり」といいながら、それを自分自身ではない別のモノに負わせたというになります。

それは不可能な解釈だというのが、この書の主張です。「ひれ伏せ」というのは神に対してしか有り得ません。御子は神です。また天使は「仕える者」ですが、御子には「神よ。あなたの王座は…」と言われます。その後の記述を読んでも、被造物などではなく、神ご自身であられることがわかります。

私たちは何と畏れ多い方を救い主として戴いていることでしょうか。それを思えば、救いの感謝、イエス様への信頼、尊厳を感じつつ慕わしさが生まれてくることでしょう。

①神のみこころは？ ②どんな思いになりましたか？ ③生き方への適用は？ ④実践は？